

平成26年12月1日

津市長 前 葉 泰 幸 様

久居地区地域審議会
会長 大 幡 貞 夫

これからの久居地域のまちづくりに係る意見・提言について

このことについて、本審議会では意見交換を行い、審議を重ねた結果、下記のとおり取りまとめましたので提出します。

今後の行政運営に当たっては、この意見・提言内容を十分尊重していただきますようお願いいたします。

記

久居地域のこれからのまちづくりを進めるに当たっては、(仮称)津市久居ホール建設、雨水排水対策、空き家対策、地域の人材育成等を重点施策として取組を進めていただくとともに、誰もが安心して暮らせる、住みよいまちになり、高齢者・女性・ボランティアが活躍できる、市民と行政が協働したまちづくりが進められることを望みます。

なお、そのための具体的な施策として、以下のとおり意見・提言いたします。

具体の施策

1 美しい環境と共生するまちづくり

(1) 空き家対策

空き家が至るところにある現状は、今後のまちづくりをするに当たり問題であります。そこでネックになっているのが、個人の財産ということになってきますので、空き家条例を制定して、行政が積極的に対策していただきたい。

空き家の利活用については、若い世代を外部から受け入れるとか、高齢者の憩いの場とするなどの方法を提案します。

(2) 市営浄化槽事業

下水道事業計画がない西部地区は、現在、市営浄化槽事業の計画が進められており、市へ浄化槽を帰属した後の料金体系は、下水道利用料金

と同じになるといわれておりますが、これまでに要した下水道事業に対する膨大な経費を鑑みると、市街化地域と西部地域との格差は如何ばかりかと思われることから、料金体系については、もう一度再検討していただきたい。

2 安全で安心して暮らせるまちづくり

(1) 排水対策

今年8月の台風では、市内各所で冠水しましたが、このような雨は、今後は想定内として捉え、排水路の設計基準を見直して将来にかけてやり直していくという形で取り組んでいただきたい。

特に、消防本部前については、いつも水が浸いて、道路が通行止めになります。緊急車両が出られないと困りますので、早急に排水対策を行っていただきたい。それが解決できないなら、人命に関わることで、消防本部を他の場所にする必要もあります。

相川水系の改修については、県への要望を更に強化していただきたい。そして、この地域においては、開発をさせないという行政の強い姿勢を持ってもらいたい。

(2) 防災

避難所の開設・運営には、今後の大規模災害等を考えて、市が開設するという方法だけでなく、地域の人が開設するという方法も考える必要があります。

そのためには、地域の防災計画を、画一的なマニュアルではなく、その地域に合ったものにするために、地域の住民、特に若い世代や女性が主体的に参画できるような仕組みのもと、地域と行政が協働して作成し、計画を市民に浸透させていく取組が必要です。

(3) 高齢者施策

超高齢化社会に向けて、健康寿命を延ばす取組を行い、高齢者が安心して、かがやいて生活できるまちづくりを考えていただきたい。

高齢者の方、特に女性の方はお元気ですので、いろいろな所で活躍できる場所を提供していただきたい。

(4) ボランティア

地域の人材の発掘・育成・組織化を行い、こうした人材をまちづくり、ボランティアに積極的に活かすような仕組みをつくり、皆がやさしく、力を合わせられるまちになることを望みます。

ボランティアの人材として、市内の学校や企業に協力を依頼したり、元気な高齢者や女性に活躍の場を呼びかけたりすることを提案します。

また、参加を促進する方策の一つとして、ポイント制度を導入してはどうでしょうか。

3 豊かな文化と心を育むまちづくり

(1) 人材育成

地域の人材の組織化ということで、他所の自治体では、公民館がまちづくりの拠点としてしっかり機能している所があります。こうした取組を津市でも進めて、まちづくりやボランティア活動を進めていくことを提案します。

(2) (仮称) 津市久居ホールの整備

(仮称) 津市久居ホールを一刻も早く建設していただきたい。

そのホールを中心としてまちが発展していくことを期待しています。

4 活力のあるまちづくり

(1) 農業振興

過疎化が進む中で、農地の荒廃を防ぐために、若者や定年後の就農を促進して、農業経営の育成や支援を地域ぐるみで取り組めるようなまちづくりをしていただきたい。

(2) 獣害対策

獣害対策の強化について、久居地域に捕獲後の肉の加工場を造っていただきたい。

そして、久居農林高校に商品開発をお願いしてはどうでしょうか。

(3) 都市計画道路の整備

道路整備計画の見直しが行われていますが、存続された道路について

は、すみやかに事業計画にあげていただき、実現に向けて努力していただきたい。

特に、元町孝行井戸線につきましては、桜が丘町から明神町へ抜ける間の近鉄の所を平面にするのか、高架にするのかを判断して、早急に整備していただきたい。

(4) 観光の振興

榊原地域を始めとする西部地域は、自然の宝庫だと思いますので、自然観察ができる地域としての特性を活かした取組をしていただきたい。

5 参加と協働のまちづくり

(1) 女性参画

女性がかがやくためには、最初の一步として、自治会運営に女性も参画していくことが必要だと思います。

その手助けとして、行政の方から自治会運営に女性を何人入れてくださいという提案をしていただきたい。

また、行政側においても、この地域審議会のような様々な会においては、女性の割合を半分にするようにお願いします。

(2) 情報発信

市民と行政が協働してまちづくりを進めるためには、情報の共有が不可欠ですので、情報発信の更なる取組を行っていただきたい。

(3) 検証会議

市民参画の推進の中には、市民の検証ということも必要だと思いますので、検証会議というものを設けていただきたい。